

# バイオサイエンス事業



株式会社ニチレイ 執行役員  
株式会社ニチレイバイオサイエンス 代表取締役社長

武永 正人

[ビジョン]

医療の進化に寄り添う新商品の開発で、  
健康と医療の社会課題解決に貢献します。

## 事業概要

ニチレイバイオサイエンスは、ニチレイグループの素材調達力とバイオテクノロジー分野の技術力を生かし、分子診断薬、迅速診断薬、バイオ医薬品原料、機能性素材の4つの分野で事業を展開しています。これまで培った技術力・調達力・品質保証力を活かし、高品質の製品・サービスを通じ、医療・健康・バイオ産業の発展に貢献することを目指しています。

ニチレイバイオサイエンス  
<https://www.nichirei.co.jp/bio/>

## 強み

グローバル企業と競合できる高い開発力と人材を持つ、  
世界でも数少ないコンパニオン診断薬開発メーカー

- ・生物由来の原料から安定的に高品質の製品を作る技術力
- ・細胞や抗体に関する豊富な知見と技術経験

主な  
取り扱い商品



コンパニオン診断薬  
ヒストファインALK iAEP®キット



インフルエンザウイルス迅速診断薬  
イムノファイン™FLU



機能性素材  
アセロラエキス

## 中期経営計画 WeWill 2021

### 戦略サマリー

ニチレイバイオサイエンスは、これまでの開発投資を具現化するため、2019年に新設したグローバルイノベーションセンターを拠点に新たな製品開発に注力します。

医療分野では、免疫に着目した副作用の少ないがん治療薬が生まれ、また再生医療などの新しい治療法が現れました。これらの治療法から一人一人に適した治療方針を選択するために、診断薬と診断に用いる医療機器の役割はますます重要になっています。ニチレイバイオサイエンスはこれに応え、細胞と免疫・抗体に関する技術と知見を利用した診断薬を製造し、医療機器とともに販売し、最新医療に貢献しています。さらなる貢献を目指し製品開発スピードを高めるために、大学やベンチャー企業、製薬会社等との共同開発を進めるなど、オープンイノベーションにもこれまで以上に積極的に取り組んでまいります。

機能性素材事業では、プラセンタエキスや植物由来抽出物等を製造販売しています。これらの製品では、開発において動物実験を必要最小限にするアニマルウェルフェアへの配慮とともに、オーガニック製品の開発検討などを行い、社会面でも顧客ニーズに対応していきます。

また海外では、2019年3月に買収したPathcom(パスコム)社との協業を通じて医療機器と診断薬の開発・生産・販売の一体運営を実現するとともに、米国における診断薬事業を足掛かりにしたグローバルな事業展開を目指していきます。

一方でニチレイバイオサイエンスは、いずれの事業においても、品質変動が生じやすい生物由来の物質を原材料にしていますが、安定的な生産と品質管理の充実により、製品品質を一定の高水準に保つことを得意としています。ニチレイグループの一員としても、高品質による安全と安心をさらに追求するとともに、専門性の高い人材と技術で製品の付加価値を向上し、世界での存在感を高めてまいります。

### 主要施策

#### ■ 国内

- ・次世代の診断薬・診断装置の開発、製品化の推進
- ・安定的な生産技術の確立と品質管理強化による顧客満足度の向上
- ・技術革新と変化するニーズをとらえたビジネスモデルの創出
- ・事業のグローバル化に対応した知的財産管理機能の強化

#### ■ 海外

- ・米国を足掛かりにした事業展開の推進

#### ■ ESG

- ・グローバルイノベーションセンター周辺の地域社会との良好な関係の構築
- ・多様な人材の採用と育成、働き方改革とともに生産性を向上

### 外部環境(3カ年の見通し)

#### [機会]

- ・国内外での高齢化に伴う患者の増大や医療システムの構造変化
- ・医療財政のひっ迫と国民の健康意識の高まり
- ・医療の進化に伴う多様な診断薬と医療機器の需要の高まり

#### [リスク]

- ・医療関連企業のグローバルな競争の激化
- ・気候変動による新たな感染症発生リスクの高まり

### TOPICS

#### 「グローバルイノベーションセンター」を開設

ニチレイバイオサイエンスは、生産および研究開発の新たな拠点として、埼玉県狭山市に「グローバルイノベーションセンター」を開設しました。2019年6月より本格稼働をしています。

新拠点では蓄積してきたノウハウや技術を発展させるとともに、社内外におけるグローバルな交流によってイノベーションを促進し、多様化する顧客ニーズに応えてまいります。



#### グローバルイノベーションセンターの特長

- 密度の高いコミュニケーションや協働を促すオフィス空間
- グローバルなコミュニケーションを可能にするWEB会議室
- 事業継続を確かなものにする免震構造
- 最新の省エネ技術の活用

#### グローバルイノベーションセンターの概要

- 名称：ニチレイバイオサイエンス  
グローバルイノベーションセンター
- 所在地：埼玉県狭山市新狭山一丁目11-8
- 所長：大林 弘一(ニチレイバイオサイエンス取締役常務執行役員)
- 建物概要：4階建、建築面積/2,207㎡、延床面積/7,681㎡
- 用途：生命科学分野の研究開発および  
診断薬・化粧品原料・食品原料の生産